



# Press release

2021年2月22日

## アクサ・ホールディングス・ジャパン、 2020年度第3四半期末の業績を発表

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:安淵 聖司)は、日本の会計基準に基づく2020年度(令和二年度)第3四半期末の連結業績を発表しました。

### 収入指標

- ・ 連結保険料収入は前年同期比 1.2%減の 5,079 億円。

### 収益指標

- ・ 連結当期純利益は、前年同期比 61.6%減の 93 億円。

### 財務基盤

- ・ 連結ソルベンシー・マージン比率は、2020年3月末より 17.5 ポイント減少し、746.1%。

保険3社の主要業績は以下の通りです。

## アクサ生命

### 収入指標

- ・ 保険料収入は、前年同期比 0.2%増の 4,358 億円。  
(保険料等収入は前年同期比 1.6%減の 4,614 億円)

### 収益指標

- ・ 基礎利益は、前年同期比 56.7%増の 251 億円。
- ・ 当期純利益は、前年同期比 65.6%減の 83 億円。

### 財務の健全性

- ・ ソルベンシー・マージン比率は、2020年3月末より 23.7 ポイント増加し、756.5%。

## アクサ損害保険

### 収入指標

- ・ 元受正味保険料は前年同期比 2.3%増の 423 億円となり、正味収入保険料は前年同期比 1.8%増の 414 億円。

### 収益指標

- ・ 四半期純利益は前年同期比 10.7%減の 20 億円。

### 財務の健全性

- ・ ソルベンシー・マージン比率は、2020年3月末より 94.4 ポイント増加し、671.0%。



## アクサダイレクト生命

### 収入指標

- ・ 保険料収入は前年同期比 20.0%増の 50 億円。  
(保険料等収入は前年同期比 38.9%増の 61 億円)

### 収益指標

- ・ 当期純損失は、2.6 億円となった。

### 財務の健全性

- ・ ソルベンシー・マージン比率は 2020 年 3 月末より 220.5 ポイント減少し、1,135.4%。

---

#### アクサ・ホールディングス・ジャパンについて

アクサ・ホールディングス・ジャパンは AXA のメンバーカンパニーとして、2019 年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命、アクサ損害保険、アクサダイレクト生命の 3 社を擁しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

#### アクサグループについて

アクサは世界 57 ヶ国で 16 万人の従業員を擁し、1 億 800 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2019 年度通期の売上は 1,035 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングスは 65 億ユーロ、2019 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 9,690 億ユーロにのびります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、アクサの米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

\*上記はアクサグループの 2019 年度の業績数値です

広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa-holdings.co.jp/>

---

## 保険持株会社及びその子会社等の状況

### (1) 主要な業務の状況を示す指標

(単位: 百万円)

項目	2019年度第3四半期連結累計期間	2020年度第3四半期連結累計期間
経常収益	676,773	761,734
経常利益	44,533	23,759
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,339	9,351
四半期包括利益	22,486	22,620

項目	2019年度末	2020年度第3四半期連結会計期間末
総資産	7,510,915	7,771,834
ソルベンシー・マージン比率	824.4%	746.1%

### (2) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数	3社
持分法適用非連結子会社数	2社
持分法適用関連会社数	—

## (3)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	2019年度末 要約連結 貸借対照表 (2020年3月31日現在)	2020年度 第3四半期連結 会計期間末 (2020年12月31日現在)	科目	期別	2019年度末 要約連結 貸借対照表 (2020年3月31日現在)	2020年度 第3四半期連結 会計期間末 (2020年12月31日現在)
		金額	金額			金額	金額
(資産の部)				(負債の部)			
現金及び預貯金		147,479	147,992	保険契約準備金		5,435,563	5,655,900
買現先勘定		—	1,402	支払備金		72,031	67,095
債券貸借取引支払保証金		2,586	—	責任準備金		5,355,297	5,581,428
有価証券		6,670,521	7,007,543	契約者配当準備金		8,234	7,376
貸付金		110,587	101,594	代理店借		2,785	2,992
有形固定資産		5,318	5,535	再保険借		143,193	155,330
無形固定資産		57,833	54,307	売現先勘定		—	940,686
のれん		38,239	34,131	債券貸借取引受入担保金		1,087,661	143,287
その他		19,593	20,175	その他負債		304,587	351,236
代理店貸		28	13	退職給付に係る負債		46,886	43,039
再保険貸		191,299	190,694	役員退職慰労引当金		782	728
その他資産		325,661	263,161	価格変動準備金		46,197	48,125
貸倒引当金		△400	△411	繰延税金負債		16,698	23,284
				負債の部合計		7,084,355	7,364,612
				(純資産の部)			
				資本金		85,000	85,000
				資本剰余金		46,538	46,538
				利益剰余金		81,709	49,101
				自己株式		△2	△2
				株主資本合計		213,245	180,638
				その他有価証券評価差額金		119,236	144,271
				繰延ヘッジ損益		93,515	81,747
				退職給付に係る調整累計額		563	564
				その他の包括利益累計額合計		213,315	226,583
				純資産の部合計		426,560	407,222
資産の部合計		7,510,915	7,771,834	負債及び純資産の部合計		7,510,915	7,771,834

## (4)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	2019年度第3四半期 連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年12月31日まで)	2020年度第3四半期 連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年12月31日まで)
		金額	金額
経常収益		676,773	761,734
保険料等収入		513,987	507,908
資産運用収益		157,244	243,008
(うち利息及び配当金等収入)	(	64,533)	( 60,193 )
(うち有価証券売却益)	(	40,494)	( 16,222 )
(うち金融派生商品収益)	(	—)	( 1,819 )
(うち特別勘定資産運用益)	(	52,205)	( 152,335 )
その他経常収益		5,541	10,817
経常費用		632,239	737,975
保険金等支払金		354,647	369,751
(うち保険金)	(	67,683)	( 64,703 )
(うち年金)	(	63,387)	( 59,418 )
(うち給付金)	(	70,759)	( 70,670 )
(うち解約返戻金)	(	120,907)	( 126,828 )
責任準備金等繰入額		124,832	226,140
責任準備金繰入額		124,821	226,131
契約者配当金積立利息繰入額		10	9
資産運用費用		20,600	12,183
(うち支払利息)	(	68)	( 16 )
(うち有価証券売却損)	(	6,815)	( 9,881 )
(うち有価証券評価損)	(	396)	( 672 )
(うち金融派生商品費用)	(	8,078)	( — )
事業費		118,022	116,037
その他経常費用		14,136	13,861
経常利益		44,533	23,759
特別損失		2,021	5,985
固定資産等処分損		251	1
減損損失		1	—
価格変動準備金繰入額		1,768	1,927
その他特別損失		—	4,055
契約者配当準備金繰入額		3,760	3,232
税金等調整前四半期純利益		38,752	14,541
法人税及び住民税等		19,438	3,763
法人税等調整額		△5,025	1,427
法人税等合計		14,413	5,190
四半期純利益		24,339	9,351
親会社株主に帰属する四半期純利益		24,339	9,351

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	2019年度第3四半期 連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年12月31日まで)	2020年度第3四半期 連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年12月31日まで)
		金額	金額
四半期純利益		24,339	9,351
その他の包括利益		△1,853	13,268
その他有価証券評価差額金		△1,485	25,034
繰延ヘッジ損益		△98	△11,767
退職給付に係る調整額		△268	1
四半期包括利益		22,486	22,620
親会社株主に係る四半期包括利益		22,486	22,620

注記事項

(四半期連結貸借対照表及び連結株主資本等変動計算書関係)

2020年度第3四半期連結会計期間末

1. 会計方針の変更

連結子会社であるアクサ損害保険株式会社は、前連結会計年度の下期において、収入保険料の計上基準を従来の期中においては保険料の入金時に計上を行い、期末時点において始期日調整を行う基準から、保険契約の始期日に基づいて計上する基準に変更しております。当該変更は、保険基幹システムの刷新により当該処理が期中を通じて行える環境が整ったことを契機として、収入保険料について保険契約期間に基づいた、より実態に応じた保険料計上を行うことを目的とするものであります。また、既経過保険料は保険料の計上の翌月から保険契約の経過月に応じて認識しているため、当該保険料の計上基準の変更に伴い、責任準備金に含まれる未経過保険料の金額に変動が生じています。

損害保険会社においては、初年度収支残と未経過保険料を比較し、いずれか大きいものを普通責任準備金とすることが、保険業法施行令第70条第1項第1号で定められており、当社におきましては2019年12月期においては、初年度収支残が未経過保険料を上回っていたため初年度収支残を普通責任準備金として積み立てておりました。変更後の会計方針に従った場合、未経過保険料が増加することにより初年度収支残を超過するため、未経過保険料が普通責任準備金として積み立てられる結果、普通責任準備金の金額が増加いたしました。

上記の通り、当第3四半期連結会計期間に係る四半期連結財務諸表に含まれる比較情報に適用した会計方針と前第3四半期連結会計期間に係る四半期連結財務諸表に適用した会計方針との間に相違がみられます。

2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期連結貸借対照表価額は132,415百万円、売現先取引による買戻し条件付の売却を行っている有価証券の四半期連結貸借対照表価額は848,226百万円であります。
3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

①当連結会計期間期首現在高	8,234百万円
②当第3四半期連結累計期間契約者配当金支払額	4,099百万円
③利息による増加等	9百万円
④契約者配当準備金繰入額	3,232百万円
⑤当第3四半期連結会計期間末現在高	7,376百万円

4. 配当金支払額

2020年12月3日の取締役会において、以下のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

①配当金の総額	41,959百万円
②1株当たり配当額	5,380円
③基準日	2020年9月30日
④効力発生日	2020年12月10日

5. 株主資本の金額の著しい変動

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当連結会計期間期首残高	85,000	46,538	81,709	△2	213,245
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△41,959		△41,959
四半期純利益			9,351		9,351
当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計	—	—	△32,607	—	△32,607
当第3四半期連結会計期間末残高	85,000	46,538	49,101	△2	180,638

(四半期連結損益計算書関係)

2020年度第3四半期連結累計期間

1. 1株当たり四半期純利益は1,199円09銭であります。
2. 当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(賃貸用不動産等減価償却費を含む)は4,510百万円、のれんの償却額は4,108百万円であります。



## (5)連結ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項目	2019年度末	2020年度 第3四半期連結 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	658,070	667,334
資本金等	175,005	146,506
価格変動準備金	46,197	48,125
危険準備金	42,320	42,861
異常危険準備金	2,188	3,505
一般貸倒引当金	178	191
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	149,045	180,339
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	629	617
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	781	784
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	228,601	227,222
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	13,120	17,180
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2+R_5^2+R_6+R_9})^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4+R_6$ (B)	172,338	178,862
保険リスク相当額 R <sub>1</sub>	11,983	12,085
一般保険リスク相当額 R <sub>5</sub>	6,595	6,671
巨大災害リスク相当額 R <sub>6</sub>	1,691	1,923
第三分野保険の保険リスク相当額 R <sub>8</sub>	7,077	7,101
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R <sub>9</sub>	—	—
予定利率リスク相当額 R <sub>2</sub>	33,530	32,732
最低保証リスク相当額 R <sub>7</sub>	7,620	9,899
資産運用リスク相当額 R <sub>3</sub>	124,341	129,049
経営管理リスク相当額 R <sub>4</sub>	3,856	3,989
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	763.6%	746.1%

(注)1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び2011年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。

2. 最低保障リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を用いています。

## (6)セグメント情報

当グループは、報告セグメントが生命保険事業のみであります。なお、生命保険事業以外に損害保険事業等を営んでおりますが、当該事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、セグメント情報の記載を省略しております。